

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況															備考		
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目			5年目					
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率			
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/m <sup>3</sup> )の減少率	H30	R5	-	-	-	1	-16.4	-1640%	-	-	-	3	-39.1	-1303%	4	-12.4	-310%			
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(m <sup>3</sup> /人・日)の増加率	H30		11	12.1	110%	12	12.3	103%	13	11.7	90%	14	30.2	216%	<u>15</u>	34.0	227%			
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(m <sup>3</sup> )の増加率		R3	11	13.9	126%	<u>14</u>	0.6	4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(m <sup>3</sup> /百万円)																			
		木造化(補助率15%以内)																				
		木質化																				
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備		事業費当たりの木質バイオマス利用量(m <sup>3</sup> /百万円)																		
		木質バイオマス供給施設整備																				
木質バイオマスエネルギー利用施設整備																						

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。  
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。